

平成26年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	平成26年5月28日(水) 広島合同庁舎会議室
委員	神野 智文(委員長/前財団法人客員研究員) 森嶋 久雄(不動産鑑定士) 藤井 堅(大学院教授) 爲末 和政(弁護士) 伊藤博文(税理士) 以上5名

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成26年1月1日 ~ 平成26年2月28日		
審議対象件数	26件		
1. 入札状況について(参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)			
抽出件数	7件	(審議概要) 「抽出案件」 ・建設工事 ・建設コンサルタント業務等 「報告事項」 ・低入札事案について ・不調事案について ・指名停止等の措置状況について	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)		2件
	一般競争(政府調達協定対象外)		3件
	公募型指名競争		0件
	指名競争		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	2件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【抽出案件】 ○建設工事 【一般競争入札】 《岩国飛行場(H25)北側汚水処理施設整備工事》 【抽出理由】 ・高額案件であるため。 ・入札状況を説明されたい。 ・技術提案について説明されたい。 ・かなり評価に点差があるようだが。	・7者の申請があったが、入札状況調査書のとおり全者が応札した。そのうち予定価格内の応札は4者あり、落札率は90.85%となっている。 ・技術提案①については、汚水処理施設を運用する際のランニングコストの所要見込額を点数化したものであり、技術提案②については環境保全の観点から、土工事を行う際の粉じん発生を抑制する対策等を採点している。 ・①については最も安価なものを満点の20点として、後は金額比により按分しているためである。	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・ランニングコストは何年分を算出させているのか。</p> <p>・工事費用とランニングコストを加味したライフサイクルコストそのままに入札してはどうなのか。</p> <p>・2年くらいの工期となっているが、工期を1年毎に分けて工事をやることは考えていなかったのか。</p> <p>・維持管理はどうするのか。</p> <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（H25）一般倉庫等新設土木工事》</p> <p>【抽出理由】 ・高額にもかかわらず、1社応札である。落札率も99.67%と高率であるため。</p> <p>・一者応札、高落札率であることの理由について説明されたい。</p> <p>・3つに地区が分かれているというのは今回初めてなのか。</p> <p>・建物は3地区を一括発注したのか。</p> <p>【一般競争入札】 《呉（25）吉浦栈橋消火施設整備土木工事》</p> <p>【抽出理由】 ・高額にもかかわらず、一者応札で、落札率も99.36%で高率であるため。</p>	<p>・18年分のランニングコストを算出させている。</p> <p>・当方の実施する建設工事については、通常はその工事対象物のみを予定価格としているところである。ライフサイクルコストの要素は総合評価方式における評価項目の一つとして加味している。</p> <p>・汚水処理施設はメーカーに設計技術と施工技術の総合的なノウハウが蓄積されている分野のため、原則として設計施工一括発注方式を採用しており、処理水質の性能要求を行うことから工事を分割することはできない。</p> <p>・米軍が自ら行うことになる。</p> <p>・本工事は、施工箇所が「一般保管倉庫地区」、「食堂地区」、「立体駐車場地区」の3地区に分かれており、効率的な現場管理が困難と思われたため敬遠され一者応札になったものと考えられる。 また、落札率については、1回目の入札では予定価格を超過しており、2回目の入札にて落札したことから、高率になったものと考えられる。</p> <p>・今までにも複数の地区を包含している工事はある。</p> <p>・建物の発注ロットは一般保管倉庫地区及び食堂地区の建築工事と立体駐車場地区の建築工事に分けて発注している。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・一者応札、高落札率であることの理由について説明されたい。</p> <p>・鋼管杭の栈橋という事だが、吉浦の支持地盤は結構深いのか。軟弱地盤なのか。</p> <p>・栈橋は先に作っているのか。</p> <p>・栈橋は鋼製か。</p> <p>・本工事と栈橋工事と一括発注はしなかったのか。</p> <p>・このような港湾施設の工事に消火配管や給水管等、工種が違うものを一緒に発注して良かったのか。</p> <p>・入札は1回目と2回目を同じ日に実施したのか。</p> <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場(H25)給水整備工事》</p> <p>【抽出理由】</p> <p>・入札参加者が3者であるが、3回入札が行われているため。</p> <p>・予定価格は適正であったか。</p> <p>・防衛省の積算基準は公表されているのか。</p>	<p>・本工事は、ユーティリティー（消火・給水・送油・電力）配管を設置する連絡橋の新設工事及び、消火・給水配管の新設工事等を行うものであり、連絡橋の工事が大半を占めているものである。連絡橋は杭式栈橋という構造をしており、港湾施設としては小規模ではあるものの施工の実績を有している者が少ないことから一者応札になったものと思われる。</p> <p>また、落札率については、1回目の入札では予定価格を超過しており、2回目の入札にて落札したことから、高率になったものと考えられる。</p> <p>・深さは28mである。花崗岩の固い地盤である。</p> <p>・同時に作っている。</p> <p>・コンクリート製である。</p> <p>・予算年度が異なっていたので別発注となった。</p> <p>・連絡橋の工事と、そこに配管類を設置する工事であることから、併せて発注したものであり、問題はない。</p> <p>・同日に実施している。</p> <p>・予定価格の算出にあたっては、装備施設本部制定の土木工事標準歩掛及び積算価格算定要領に基づき、一般的な資材については刊行物である建設物価及び積算資料、刊行物に掲載されていない資材については見積もりを徴集するなどして積算しており、適正なものであると考えている。</p> <p>・公表されており、ホームページにも掲載されている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・ 辞退が多いので、やはりこれ以上は無理だとのアピールをしているようだが。</p> <p>・ 入札参加業者が他の資材業者等から見積もりを取る場合に開きが出ると考えて良いか。</p> <p>・ 参加資格の設定に地域設定がされているが何か。</p> <p>【一般競争入札】 《見島（24）ボイラー施設整備等建築追加工事》</p> <p>【抽出理由】 ・ 離島での工事で入札参加者が少ないため。</p> <p>・ 離島での工事は入札参加者が少ないとのことである。 2 回目の入札で決まっているが、1 回目の入札価格はいくらであったか。無理な入札ではなかったか説明されたい。</p> <p>・ 当初公告時の予定価格と入札価格はいくらだったのか。</p> <p>・ 離島加算はあるのか。</p> <p>・ 配置予定技術者の能力の配点 19 点に対して 3 点というのは能力が相当低いのか。一般人にはわかりにくい。</p>	<p>・ これ以上下げられないとのアピールをしている可能性は考えられる。</p> <p>・ それぞれの会社間の営業協力関係があるなしによっても差が出てくると思われる。</p> <p>・ 金額等の工事規模により、中国地方 5 県を対象とした。</p> <p>・ 本件は再公告案件である。 10 月下旬の不調となった入札における当局の積算価格と応札者の入札価格の乖離を踏まえ、再公告では、これら乖離のある工種等について見積を活用する積算方式を導入したこともあり、今回、1 回目の入札より大きく価格を下げることなく 2 回目の入札で落札しており、無理な入札ではないと考えている。 昨今の全国的な建設技術者や建設労働者不足などの影響を受け、当局でも入札参加者は減少する傾向にあり、特に、離島における工事については、資材搬入や職人の確保が難しいことなどで入札参加を敬遠され、応札者は少数になったと思われるが、今後とも離島工事については、価格の乖離による入札不調がないよう、その施設の重要性等も踏まえ、当初の入札から見積を活用する積算方式の採用を検討したいと考えている。</p> <p>・ 工事内容は変わっているが、予定価格が 3,677 万円で相手方の入札価格は 5,120 万円であった。</p> <p>・ 積算上加算している。</p> <p>・ 表現の問題であるが能力が低い技術者ということではなく、最低限の資格は当然持っている中で、更に、資格や施工実績、表彰などの加点をしていくものである。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>○業務【一般競争入札】 《岩国飛行場（H25）愛宕山地区敷地造成工事監理業務》 《呉（25）係船堀土木その他工事監理業務》</p> <p>【抽出理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ業者が落札しているため。 ・同じ業者が落札している。岩国は3者応札であるが呉は1者応札であるのはどういった理由からか説明されたい。 ・呉の業務は比較的特殊ということか。 ・呉の会社か。 ・具体的に監理業務とは何をすものなのか。 ・何かあって責任問題が発生した場合どうなるのか。 ・価格評価点の算出式はどのようなになっているか。 ・価格を評価点に変えたという事か。 ・能力がない方がやると、本当にいるだけになるので、この方法が良いと思う。 資格を持っているだけでは出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容について、愛宕山は敷地造成工事を対象とし、呉は係留施設工事を対象としている。 敷地造成は大規模ではあるものの一般的な土木工事であるのに対し、係留施設は浮き栈橋の製作・設置という特殊な工事であること、また、他職種の業務を包含していることから敬遠され、結果、一者応札になったものと思われる。 ・造成工事と比べると特殊である。 ・呉に所在する会社である。 ・本来であれば発注者側の監督が工事の施工について仕様書に応じた施工が為されているかどうかを監督するものであるが、部外委託をしているもの。 ・基本的には監理業務の仕様書等に基づき適切に業務が遂行されているか確認し判断していくこととなる。 ・価格評価点の算出式は60点×(1-入札価格÷予定価格)となっている。 ・そうである。 ・そのように考えている。

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【報告事項】 ○低入札事案について（1件） ○不調事案について（4件） ・NO. 2の美保テクノスの無効の理由は。 ○指名停止等の措置状況について（2件）	なし。 ・調査基準価格を下回っていたので追加資料を求めたところ、資料が出せないとのことから無効とした。 なし。
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0件	(審議概要) なし
工 談合情報	0件	
事 点検結果疑義	0件	
業 談合情報	0件	
務 点検結果疑義	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	なし
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

3. 入札結果の事後的・分析結果について		
審 議 概 要	なし	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	なし	なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数 (再説明請求件数)		総件数	0 件	(備考) なし	
建 設 工 事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公 募 型 指 名 競 争		0 件		
	指 名 競 争		0 件		
	随 意 契 約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)		申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問		回 答		
	なし		なし		
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし			

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議
 契約実施機関：海上自衛隊

審議対象期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日	
審議対象件数	11,855件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	4件	(審議概要)
一般競争	1件	
指名競争	0件	
随意契約	3件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【随意契約】（一者応募） 《「くろべ」標的機多重管制装置等の換装（造船所工事）》</p> <p>呉地方総監部 落札率：99.49% 応札者：1者</p> <p>《「くろべ」標的機多重管制装置等の換装（専門業者工事）》 呉地方総監部 落札率：99.47% 応札者：1者</p> <p>【抽出理由】 ・継続性が必要な工事なのかどうか、造船所工事と専門業者工事との相違点等の工事内容を確認したかった。</p> <p>・契約業者はどのような業者なのか。</p> <p>・ミサイル射撃はどこで実施するのか。</p> <p>・艦の耐用年数はどのくらいか。</p>	<p>・「くろべ」は護衛艦の実施する対空ミサイル射撃等の支援を実施するために後部甲板から無線操縦する標的を発射する訓練支援艦である。</p> <p>多重管制装置はその標的をコントロールする機器であり、本契約は機器換装に伴う工事契約であり、船体の改修は造船所工事、アンテナ等の改修は専門業者工事として契約を実施したものであり、今回限りの契約である。</p> <p>・コントロール機器の換装工事であり標的のノウハウをもった業者であれば参加が可能であり、公募をかけたの随意契約である。</p> <p>・主に太平洋の公海上で行われ、海面、射撃時間等は官報に掲載され、注意喚起が行われている。</p> <p>・艦の種別によって異なるが、訓練支援艦は30年程度である。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改装工事、耐用年数の延長工事は難しいのか。 ・ 修理の時期は決められているのか。 ・ どこで建造された艦か。 ・ 契約方法はどうかであったのか。 ・ 2者の応募があればどうするのか。 ・ 工事ができる業者は1者しかないのか。 ・ もう1隻の艦は換装工事をするのか。 ・ 造船所は修理計画をみて、ドックを空けて待っているのか。 ・ 予定価格はどのようにして計算するのか。 ・ 見積もり合わせは何回実施したのか。 ・ 特約条項の超過利益の返納はよくあるのか。どのような時に行うのか。先に行われた返還請求と同じものか。 ・ 官給品と受注者手配品との区分はどのようにしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改装工事・延長工事は艦種によって異なる。使用期間、艦の傷み具合を考慮し、検査をして延命工事の必要性、廃艦の時期を判断している。 ・ 定期的な検査、修理は1年に1回、4年に1回と決められている。 ・ 日本鋼管である。 本契約の落札業者はマリンユナイテッド株式会社因島工場であり、旧、日立造船である。 ・ 公募をかけたが、1者しか応募がなく随意契約とした。 ・ 指名競争を実施する。 ・ 今回の応募状況から1者しかないと考えている。 汎用性がないものであり、他業者の参入は難しいと思う。 ・ 海上幕僚監部の計画であり、まだ決定していないが、6か月程度前には公募をかけられるように決定される。 ・ 定期的な修理計画は年間分を海上幕僚監部が示し、それに従って公募をかけている。そのため、業者はある程度、予定を立てている。 ・ 仕様書から積算している。 ・ 2回で決定した。 ・ 前例は少ないものと認識している。 返還請求は不当な請求や掛かっている工数を計上している場合に行うものであるが、超過利益の返納は正当な契約のもとに行われるものであり、実際に掛かった費用、利益等を原価監査して行うものである。 ・ 国が別途、購入したほうが効率的、経済的なものを官給品として仕様書で示している。在庫品、汎用品という切り分けではない。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用材料等一覧表中、鋼材の規格でSS41はSS400に変更となっているはずである。 ・ 特約条項はどのような契約の時に付しているのか。 ・ 業者が儲けすぎの時は規定されているが、国が得をする場合はどうするのか。 ・ 超過利益の判断はどうしているのか。 ・ このような特約を付ける契約はどの程度あるのか。 ・ 経費率の算定はどうしているのか。 ・ 鋼材の価格の上下が激しい場合等で利益が変動するが、どうしているのか。 ・ 標的は別途購入しているのか。別の業者からか。 ・ 2回目で決定しているが、その日のうちに決定したのか。 ・ 1回目と2回目で大きく入札金額が低くなっているがいかかか。 	<p>また、機器のうち受注者手配は汎用性の極めて低いもの等をケースバイケースで判断している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 強度上の問題で幅を持たせる意味合いから安価な、この規格を使用した。 同一仕様書内で表記上の統一が取れていない件は今後留意する。 ・ 技術的に前例のない新規の契約で標準的な予価の指標がない場合につけるようにしており、契約の都度、判断している。 ・ 規定はなく、考慮していない。 ・ 特約条項4条に従って判断している。 過去の過大請求事案に対する反省から取り入れられた特約条項であり、具体的には原価元帳から計算して判断する。 契約業者及び官の双方が計算し不当利益等を防止、担保するためのものである。 ・ 1%程度だと思う。 ・ 年間におけるその会社の実績から中央の計算する部署が計算し示される。契約の都度、規定しているものではない。 ・ 鋼材の購入時期、原価等を考慮して商議している。 ・ そのとおり。 ・ そのとおり。 ・ 原価を計算したうえで、1回目は業者が探りを入れたものと思料するが、実態は不明である。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【競争契約】（一般競争） 《給食業務の部外委託》</p> <p>第1術科学校 落札率：92.0% 応札者：2者</p> <p>《食器洗浄作業及び清掃作業等の委託》 第1術科学校 落札率：96.24% 応札者：2者</p> <p>【抽出理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事は毎日のことであり、同一業者が継続的に行った方が効率的ではないかという観点から、落札業者は前年度と同じ業者か。変更があったかを確認したい。契約日4月12日、納期26年3月31日となっているが、前年度も同様の契約であれば、4月1日から4月12日までは空白期となるが、どのように対応しているのかを確認したい。 ・契約業者は実績のある業者か。 ・食材はどうしているのか。 ・資料の信頼性確保に関する特約条項を役務契約でも付けているのか。 ・年間契約であるが次年度、契約できなかった場合はどうしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1術科学校は旧海軍兵学校のあった江田島市に所在し、航海術、ミサイル等の射撃術等を教育する海上自衛隊の学校であり、1日に900名から1500名の学生の給食を実施している。 給食業務は学生に提供するための調理作業に関する契約及び食器洗浄と調理室及び食堂の清掃作業に関する契約であり、24年度と25年度は異なった業者と契約したものである。 また、契約金額はあまり年度による変化はない。 契約日である4月12日は予算の配布を受けた日であり、実際に契約相手方が決定したのは3月末日であり、4月1日から12日までは協定書を作成し、契約業者に作業を実施させた。 ・24年度は九州の業者であり、他の自衛隊で実績のある業者であった。25年度は新規参入業者である。 ・別途、官側が調達した食材を提供し、自衛隊の管理栄養士の指導の下に調理作業を提供させる役務契約である。 ・年間契約であり、不当な請求に対する防止のために付けている。 ・契約業者は変更されているが、実質の作業にあたる者は正社員ではないため、落札業者にパート雇用されているのが現状である。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【随意契約】 《中華スープ外1件》</p> <p>呉地方総監部 落札率：99.65% 応札者：5者</p> <p>《ビーフン外5件》</p> <p>呉地方総監部 落札率：99.92% 応札者：5者</p> <p>【抽出理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低契約金額であるが、5者応札であること、また、本落札業者は外に2件落札していることから入札状況を比較するため。 ・1回目で辞退した業者があるが、どういうことか。 ・調味料等は銘柄を指定するのか。 ・どのくらいの周期で契約をしているのか。 ・地元の業者だけか。 ・納品場所がからす小島となっているが地名か。 ・資料にある前渡資金とはどういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・呉における糧食業者は45社いるが、金額が160万円以上の規模の契約となると、見積もり合わせに来る業者は5社程度である。今回の落札業者は比較的大手業者で年間1億円程度の契約実績があり、年間売り上げは12億程度である。 ・辞退した業者は仕様書を取りに来ただけで入札に来なかったものである。 ・仕様書で代表的なものを例とし、その同等品ということにしている。同等品は申請をさせてから納品をさせている。乾物類よりも生鮮品のほうが同等品の選定が難しいのが実情である。 ・数か月に1回ではなく、1か月分を見越して、在庫量を考慮して要求数量を算出している。 ・米等は神戸の業者も参加している。 ・倉庫の所在する地名である。 ・前渡資金とは国の会計制度上の用語であり、前もって支払っている「前払い」という意味ではない。
<p>○委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0 件	(審議概要) なし
談合情報	0 件	
点検結果疑義	0 件	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	なし	なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

3. 再苦情処理（再説明請求回数）				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数	0 件	(備考) なし	
一般競争		0 件		
指名競争		0 件		
随意契約		0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答		
	なし	なし		
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし			